

．調査の概要

1．調査の背景

この調査は、市民生活及び市政に関する市民の意見や要望を把握し、戸田市のより良いまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的に、昭和50年より4年ごとに実施しています。

これまで、定点調査として継続的に調査を実施することにより、市民意識の経年変化を捉えその時代に合った市政運営に活かしてきました。

厳しさを増す財政状況や変化の激しい社会情勢の中で、より一層多様化する市民ニーズを適確に把握し、効率的かつ効果的な市政運営を展開するためには、基礎調査としての本調査の位置づけはより重要なものとなります。

2．調査設計

(1) 調査地域：戸田市全域

(2) 調査対象：令和3年9月1日現在、市内に在住する満18歳以上の市民

(3) 標本数：3,000人

(4) 抽出方法：無作為抽出

(5) 調査方法：郵送による配布・回収

(6) 調査期間：令和3年10月1日～10月31日（返送期日）

3．回収状況

(1) 有効標本数：3,000人 (2) 有効回答数：1,497人 (3) 回収率：49.9%

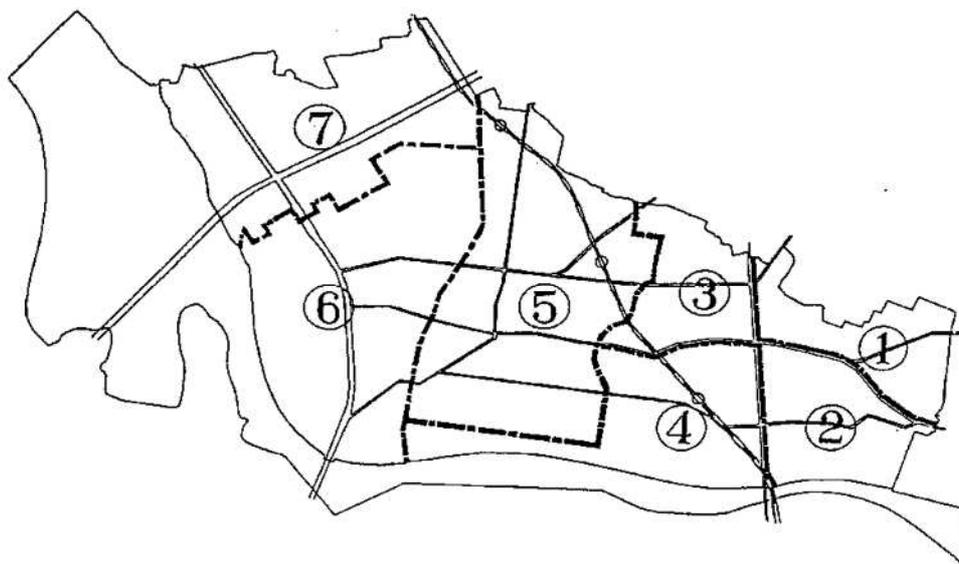
4．調査の内容

フェイスシート(標本属性)	定住意向	子育て
健康づくり	高齢化	生活環境
地域コミュニティ	市政への参加	SDGsの取り組み
戸田市の取り組み	新型コロナウイルス感染症	

5. 地区区分

市内を次の7つの地区に区分して調査、集計、分析を行いました。

1. 下戸田1地区(喜沢1・2丁目、中町1丁目、下戸田1・2丁目)
2. 下戸田2地区(喜沢南1・2丁目、中町2丁目、下前1・2丁目、川岸1・2丁目)
3. 上戸田1地区(上戸田1~5丁目、大字上戸田)
4. 上戸田2地区(川岸3丁目、本町1~5丁目、南町、戸田公園)
5. 新曽地区(大字新曽、新曽南1~4丁目、氷川町1~3丁目、大字下笹目)
6. 笹目地区(笹目南町、笹目北町、早瀬1・2丁目、笹目1~8丁目)
7. 美女木地区(美女木1~8丁目、美女木東1・2丁目、大字美女木)



6. 集計・分析に当たって

- ・ 図表中の (n= * (* は自然数)) と年度や属性の後の () 内は、集計母数を表しています。
- ・ 原則として、図表の単位は%としています。
- ・ 回答割合 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、属性ごとの回答割合の合計が 100.0% にならない場合があります。
- ・ 回答割合 (%) は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの回答割合を合計すると 100.0% を超えることがあります。
- ・ 過去の調査と選択肢等が異なる設問の経年比較については、類似の選択肢を用いている場合があります。

7. 標本誤差

この調査は無作為抽出法により行ったものであるため、標本抽出にともなう標本誤差を数学的に計算することが可能です。以下に、信頼水準 95% の場合の誤差算出式と早見表を掲載します。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{(N - n) / (N - 1) \times P (1 - P) / n}$$

N = 母集団の数 (戸田市の 18 歳以上人口 117,288 人、令和 3 年 9 月 1 日現在の住民基本台帳人口)

n = 各設問の回答数 P = 各回答の回答比率

回答比率 (%) 回答数 (人)	10 (または 90)	20 (または 80)	30 (または 70)	40 (または 60)	50
1,497	± 1.51	± 2.01	± 2.31	± 2.47	± 2.52
1,000	± 1.85	± 2.47	± 2.83	± 3.02	± 3.09
900	± 1.95	± 2.60	± 2.98	± 3.19	± 3.25
800	± 2.07	± 2.76	± 3.17	± 3.39	± 3.45
700	± 2.22	± 2.95	± 3.38	± 3.62	± 3.69
600	± 2.39	± 3.19	± 3.66	± 3.91	± 3.99
500	± 2.62	± 3.50	± 4.01	± 4.29	± 4.37
400	± 2.93	± 3.91	± 4.48	± 4.79	± 4.89
300	± 3.39	± 4.52	± 5.18	± 5.54	± 5.65
200	± 4.15	± 5.54	± 6.35	± 6.78	± 6.92
100	± 5.88	± 7.84	± 8.98	± 9.60	± 9.80

この表の見方

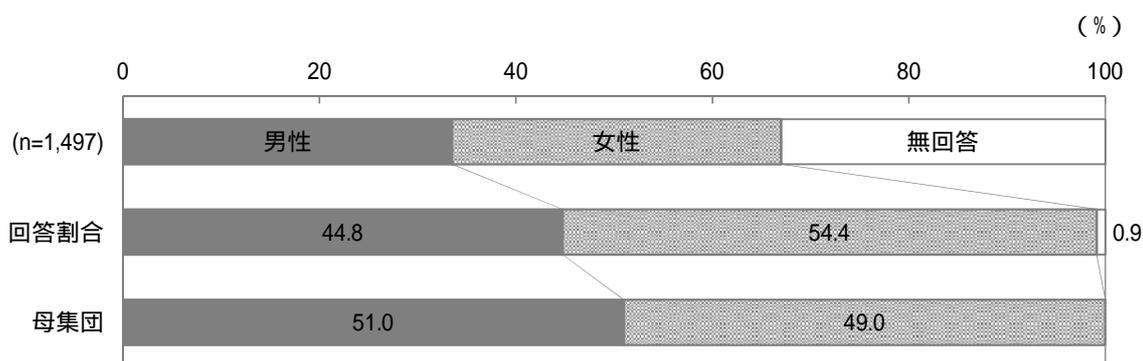
- 例えば、問 8 で通勤・通学地について、「戸田市内」と回答したのが 21.0% (n = 1,497) の場合、上表で値の近い「20 (または 80)」の欄の「1,497」の行をみると、標本誤差は ± 2.01% となります。したがって、本市の 18 歳以上の全市民に同じ質問をした場合、標本誤差を考慮すると、21.0% ± 2.01% (18.99% ~ 23.01%) の人が「戸田市内」と回答する確率 (信頼水準) が 95% である、と見ることができます。

8. 回答者の属性

問1 性別

調査対象母集団(令和3年9月1日現在の18歳以上人口)の性別構成比は、男性51.0%、女性49.0%と、女性の割合が低くなっていますが、本調査回答者1,497人の性別構成比では、男性44.8%、女性54.4%となり、女性の回答割合が高くなっています。

図表1 性別(全体)



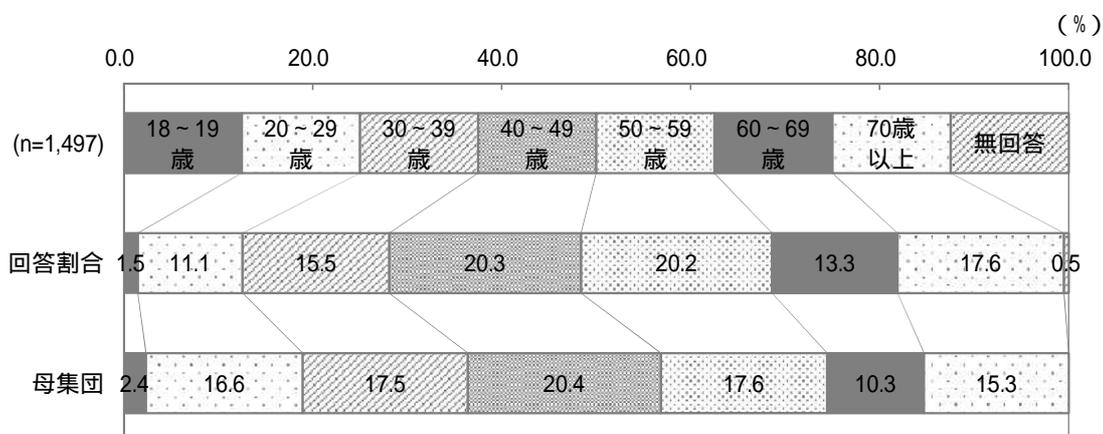
問2 年齢

回答者の年齢構成は、40歳代の割合が20.3%で最も高く、次いで50歳が20.2%、70歳代以上17.6%、30歳代15.5%となっています。

調査対象母集団の年齢別構成比は、18~19歳2.4%、20歳代16.6%、30歳代17.5%、40歳代20.4%、50歳代17.6%、60歳代10.3%、70歳以上15.3%となっています。

よって、40歳以下の回答割合より、50歳以上の回答割合が多くなっています。

図表2 年齢(全体)



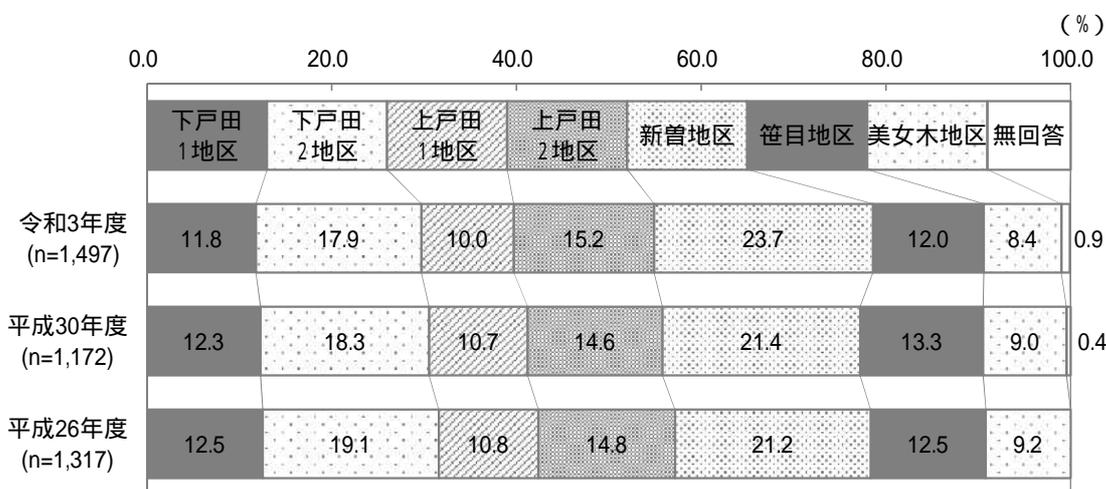
問3 居住地区

居住地区別にみると、新曽地区の割合が23.7%と最も多く、次いで下戸田2地区が17.9%、上戸田2地区が15.2%となっています。最も少ないのは美女木地区の8.4%で、前回調査と比較して、大きな相違はありません。

調査基準となった令和3年9月1日現在の町丁目別人口構成比は、下戸田1地区12.2%、下戸田2地区16.6%、上戸田1地区9.9%、上戸田2地区13.3%、新曽地区24.0%、笹目地区14.3%、美女木地区9.7%となっています。

また、居住地区別でみると、下戸田1地区、笹目地区、下戸田2地区の順に60歳以上の割合が高くなっています。

図表3 居住地区(全体)



図表4 居住地区別年齢構成表

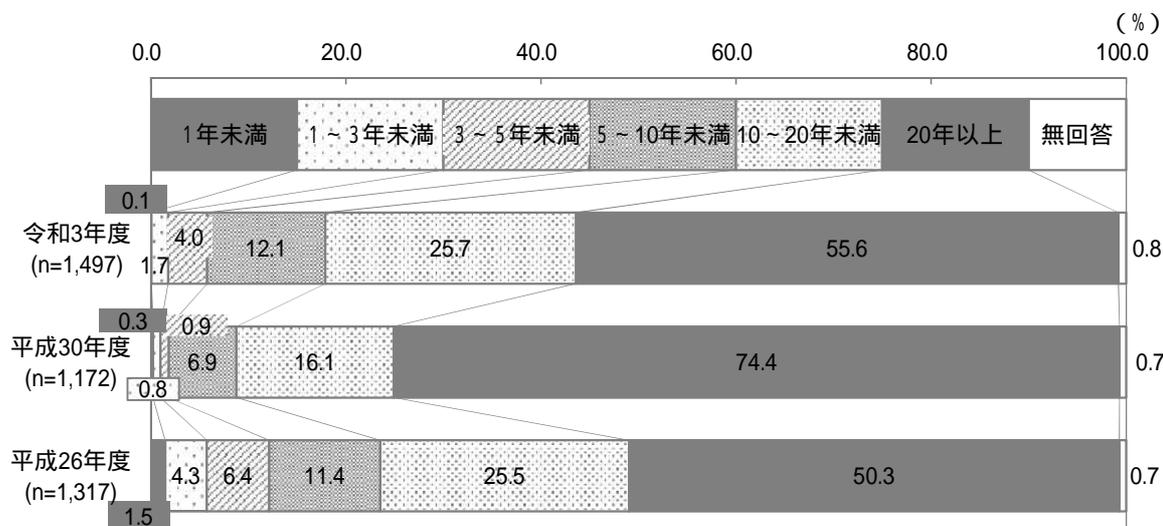
		18	20	30	40	50	60	70	無回答
		5	5	5	5	5	5	歳以上	
		19	29	39	49	59	69		
		歳	歳	歳	歳	歳	歳		
	全体(1,497)	1.5	11.1	15.5	20.3	20.2	13.3	17.6	0.5
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.6	9.6	14.7	16.9	16.9	11.3	28.8	1.1
	下戸田2地区(268)	2.2	6.4	12.6	22.7	20.5	14.9	19.4	1.1
	上戸田1地区(150)	2.0	12.7	18.7	26.0	12.6	17.3	10.7	0.0
	上戸田2地区(228)	1.3	14.5	12.7	17.6	25.5	13.6	14.4	0.4
	新曽地区(355)	0.8	14.7	19.7	21.4	20.9	12.4	10.1	0.0
	笹目地区(180)	1.7	9.5	12.8	16.6	21.1	12.8	25.6	0.0
	美女木地区(126)	2.4	8.0	15.9	20.6	19.8	11.9	20.5	0.8

問4 居住期間

居住期間は、「20年以上」が55.6%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が25.7%となっています。

これまでの推移をみると、「20年以上」は平成30年度調査から大幅に減少している傾向にあり、平成30年度調査から18.8ポイント下回っています。一方、「10年以上20年未満」は9.6ポイント上回っています。

図表5 居住期間(全体)



図表6 居住期間(居住地区別)

		1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
全体(1,497)		0.1	1.7	4.0	12.1	25.7	55.6	0.8
居住地区別	下戸田1地区(177)	0.6	1.1	4.0	10.7	18.6	63.8	1.1
	下戸田2地区(268)	0.0	0.4	2.2	12.3	28.0	56.0	1.1
	上戸田1地区(150)	0.0	3.3	3.3	14.0	32.7	46.0	0.7
	上戸田2地区(228)	0.0	1.3	3.9	11.0	26.3	57.0	0.4
	新曽地区(355)	0.0	2.5	4.5	14.4	27.0	50.7	0.8
	笹目地区(180)	0.0	0.6	4.4	7.2	17.8	68.9	1.1
	美女木地区(126)	0.0	2.4	5.6	13.5	30.2	48.4	0.0

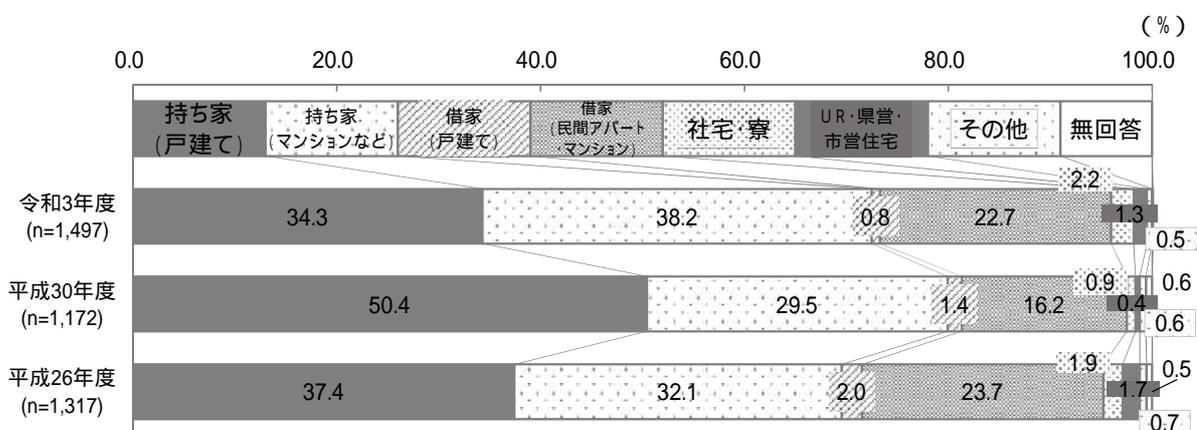
問5 住宅の種類

住宅の種類については、「持ち家（戸建て）」が 34.3%、「持ち家（マンションなど）」が 38.2%となっており、これらを合わせた持ち家比率が 72.5%となっています。

これまでの推移をみると、持ち家比率は減少傾向にあり、平成 30 年度調査から 16.1 ポイント下回っています。

持ち家に着目し、居住地区別にみると、下戸田 1 地区、笹目地区及び美女木地区は「持ち家（戸建て）」が「持ち家（マンションなど）」よりも多く、下戸田 2 地区、上戸田 1 地区、上戸田 2 地区、新曽地区では「持ち家（マンションなど）」が多くなっています。

図表 7 住宅の種類(全体)



図表 8 住宅の種類(居住地区別)

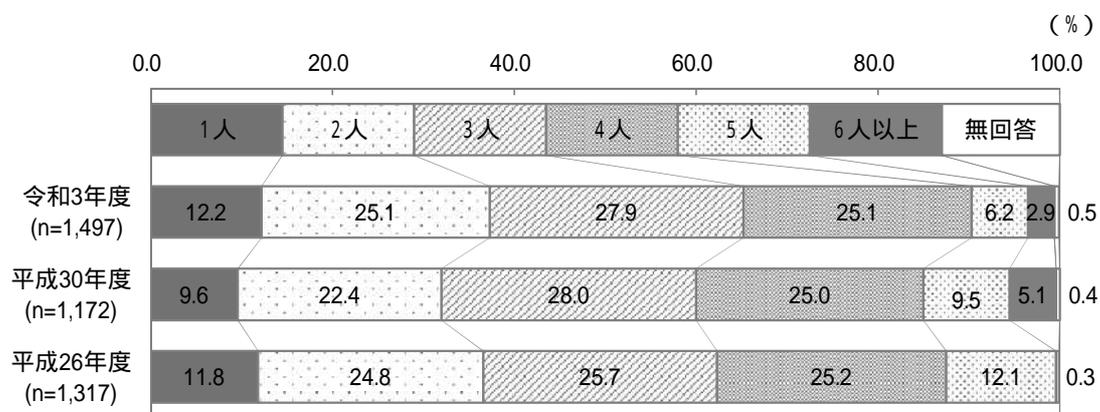
		持ち家(戸建て)	持ち家(マンションなど)	借家(戸建て)	借家(民間アパート・マンション)	社宅・寮	UR・県営・市営住宅	その他	無回答
全体(1,497)		34.3	38.2	0.8	22.7	2.2	1.3	0.5	0.1
居住地区別	下戸田 1 地区(177)	48.6	20.9	1.7	27.1	1.7	0.0	0.0	0.0
	下戸田 2 地区(268)	21.6	61.9	0.7	10.4	0.0	5.2	0.0	0.0
	上戸田 1 地区(150)	27.3	38.7	0.0	32.7	1.3	0.0	0.0	0.0
	上戸田 2 地区(228)	25.0	45.6	0.0	27.2	1.3	0.0	0.9	0.0
	新曽地区(355)	31.8	39.7	0.6	23.4	2.8	0.8	0.6	0.3
	笹目地区(180)	53.3	12.2	1.7	27.8	3.3	1.1	0.6	0.0
	美女木地区(126)	47.6	31.7	0.8	11.1	7.1	0.0	1.6	0.0

問6 家族の人数

回答者自身も含めた同居の家族の人数については、「3人」が27.9%で最も多く、次いで「4人」、「2人」となっています。

これまでの推移をみると、平成30年度調査と比較して「1人」が、2.6ポイント、「2人」が2.7ポイント高くなっています。

図表9 家族の人数(全体)



問7 仕事（雇用形態）

仕事については、「フルタイム正社員」が38.2%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が14.5%、「年金生活」が12.9%、「無就業」が7.1%となっています。「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計である就労中の割合は74.0%でした。

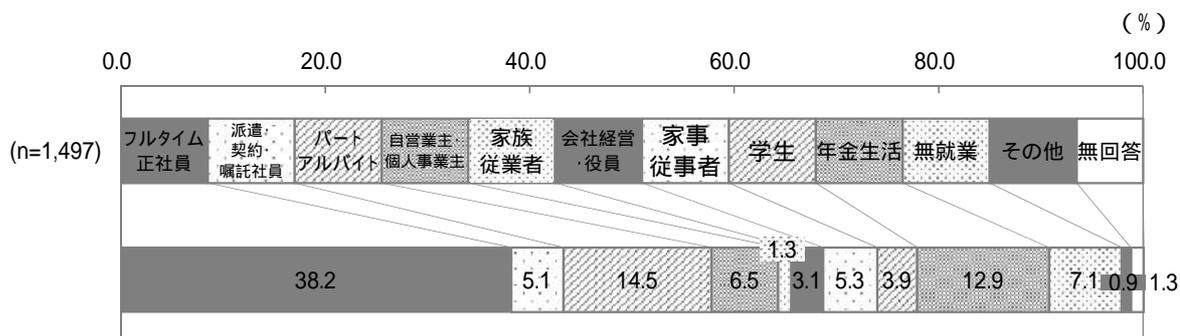
性別にみると、男性は「フルタイム正社員」が51.3%と半数以上を占めるのに対し、女性は27.6%となっています。

年齢別でみると、20歳代、30歳代、40歳代の「フルタイム正社員」が50%以上となり、次いで50歳代が47.9%となっています。

60歳代では、「フルタイム正社員」は15.6%と少ないものの、「フルタイム正社員」から「家事従事者」までの合計が71.9%と、約3人に2人が就業しており、70歳以上では26.2%と約4人に1人が就業しています。

地区別にみると、「フルタイム正社員」では、上戸田1地区が44.7%、上戸田2地区が43.4%と他地区と比べて高いことが特徴です。

図表 10 仕事(全体)



図表 11 仕事(全体・性別・年齢別・居住地区別)

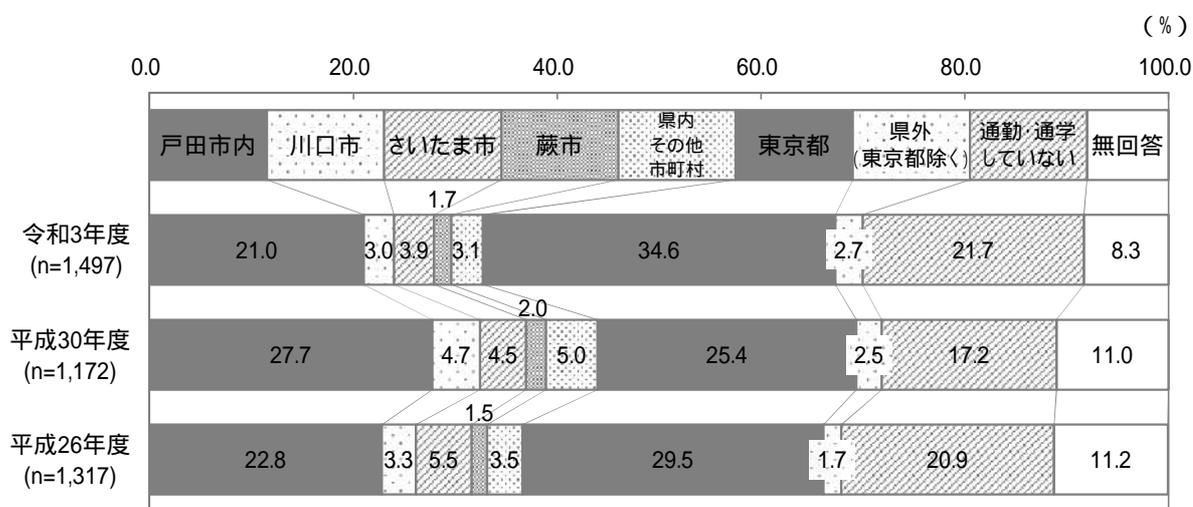
		フルタイム(常勤)の正社員 被雇用者	派遣・契約・嘱託社員	パートまたはアルバイト	自営業主・個人事業主	家族従業者	会社経営・役員	家事従事者	学生	年金生活	無就業	その他	無回答
	全体(1,497)	38.2	5.1	14.5	6.5	1.3	3.1	5.3	3.9	12.9	7.1	0.9	1.3
性別	男性(670)	51.3	4.6	4.2	10.0	0.1	4.8	0.0	4.6	13.3	4.8	1.0	1.2
	女性(814)	27.6	5.5	23.0	3.7	2.2	1.6	9.6	3.4	12.4	8.8	0.7	1.4
年齢別	18～19歳(23)	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	20～29歳(166)	51.2	3.0	8.4	4.2	0.6	1.2	1.2	23.5	0.0	5.4	0.6	0.6
	30～39歳(232)	58.2	6.5	7.8	5.2	1.7	1.3	9.5	0.0	0.0	6.9	1.7	1.3
	40～49歳(304)	52.6	3.6	21.1	6.3	1.0	2.3	6.6	0.0	0.0	4.9	1.0	0.7
	50～59歳(303)	47.9	5.0	22.8	5.6	1.3	5.0	5.0	0.0	0.0	6.3	0.3	1.0
	60～69歳(199)	15.6	10.1	20.6	11.6	1.5	5.0	7.5	0.0	19.6	6.0	1.0	1.5
	70歳以上(263)	4.2	3.8	4.2	7.2	1.5	3.4	1.9	0.0	57.8	12.5	0.8	2.7
居住地区別	下戸田1地区(177)	32.2	5.1	15.8	5.6	1.7	2.8	5.6	1.1	19.8	7.9	0.0	2.3
	下戸田2地区(268)	34.7	7.5	14.6	5.2	1.5	2.2	7.5	4.1	15.3	6.3	0.4	0.7
	上戸田1地区(150)	44.7	5.3	14.0	4.0	2.7	0.7	6.0	4.0	11.3	5.3	0.7	1.3
	上戸田2地区(228)	43.4	7.9	9.6	8.8	1.3	3.1	3.1	5.3	9.6	6.1	1.3	0.4
	新曽地区(355)	40.3	4.8	15.5	7.3	0.6	3.1	6.2	4.8	8.7	5.6	1.1	2.0
	笹目地区(180)	30.6	2.8	19.4	6.1	1.1	5.6	3.9	2.8	15.0	11.1	0.6	1.1
	美女木地区(126)	40.5	0.0	13.5	7.9	0.8	4.8	2.4	4.0	14.3	9.5	1.6	0.8

問 8 通勤・通学地

通勤・通学している人の通勤・通学先としては、「東京都」が 34.6%と最も多く、次いで「戸田市内」が 21.0%となっており、隣接市（川口市、さいたま市、蕨市の計）は 8.6%にとどまっています。

これまでの推移をみると、平成 30 年度調査では「戸田市内」、「東京都」の順でしたが、今回調査で順位が逆転しています。

図表 12 通勤・通学地(全体)



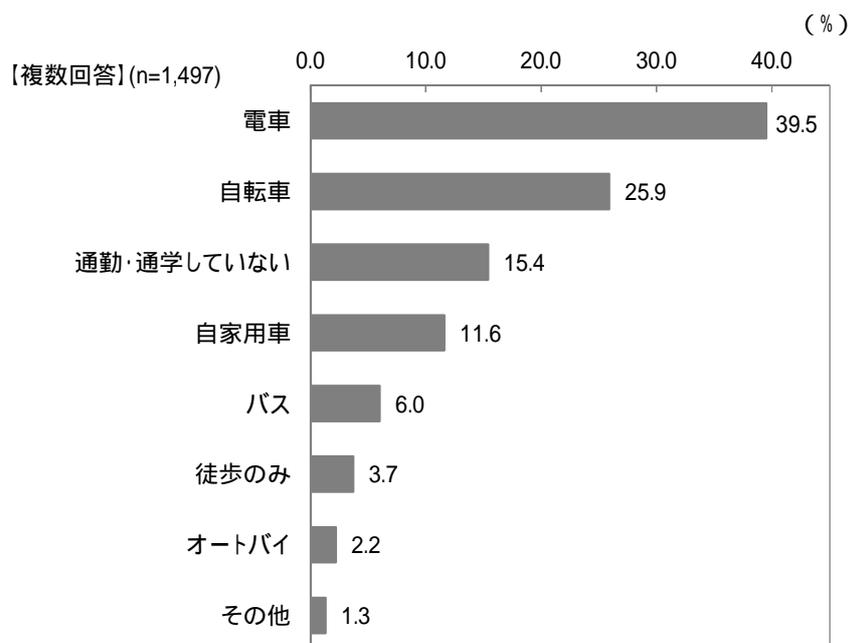
問9 通勤・通学の交通手段

通勤・通学の交通手段では、「電車」が39.5%と最も高く、次いで「自転車」が25.9%でした。

居住地区別にみると、鉄道3駅がある上戸田1地区、上戸田2地区及び新曽地区の3地区は、「電車」の割合が他地区より高くなっています。一方、笹目地区及び美女木地区は、「自家用車」の割合が他地区より高くなっています。

通勤・通学地別でみると、「戸田市内」は「自転車」(58.3%)に次いで「自家用車」(18.2%)が高くなっています。「東京都」や「さいたま市」は「電車」の割合が高くなっています。また、他の通勤・通学地と比べて、「川口市」は「バス」(26.7%)が高く、「蕨市」は「自転車」(56.0%)が高いことが特徴です。

図表 13 通勤・通学の交通手段(全体)



図表 14 通勤・通学の交通手段(全体・居住地区別・通勤通学地別)

		徒歩のみ	電車	自家用車	バス	自転車	オートバイ	通勤・通学していない	その他
	全体(1,497)	3.7	39.5	11.6	6.0	25.9	2.2	15.4	1.3
居住地区別	下戸田1地区(177)	1.7	36.7	10.7	12.4	28.8	1.1	17.5	0.6
	下戸田2地区(268)	2.6	36.9	8.2	6.7	28.0	1.5	16.8	0.7
	上戸田1地区(150)	7.3	44.7	8.7	2.7	26.7	0.7	14.0	2.0
	上戸田2地区(228)	3.5	55.3	10.1	2.6	17.1	0.4	11.0	0.9
	新曽地区(355)	2.5	43.9	9.6	4.5	28.5	2.5	14.9	0.8
	笹目地区(180)	6.1	19.4	21.7	7.2	27.8	3.9	17.8	2.2
	美女木地区(126)	4.8	28.6	17.5	8.7	22.2	7.1	17.5	3.2
通勤・通学地別	戸田市内(314)	15.3	3.8	18.2	4.8	58.3	3.5	2.9	1.0
	川口市(45)	0.0	15.6	31.1	26.7	48.9	8.9	0.0	0.0
	さいたま市(58)	0.0	67.2	32.8	8.6	36.2	5.2	0.0	0.0
	蕨市(25)	12.0	4.0	24.0	0.0	56.0	4.0	0.0	0.0
	県内その他の市町村(47)	0.0	63.8	36.2	12.8	31.9	2.1	0.0	10.6
	東京都(518)	0.4	89.0	9.3	9.1	22.8	2.3	0.0	1.4
	県外(東京都を除く)(41)	0.0	82.9	17.1	7.3	17.1	2.4	0.0	4.9
	通勤・通学していない(325)	0.3	1.2	1.2	0.3	1.5	0.0	66.5	0.3

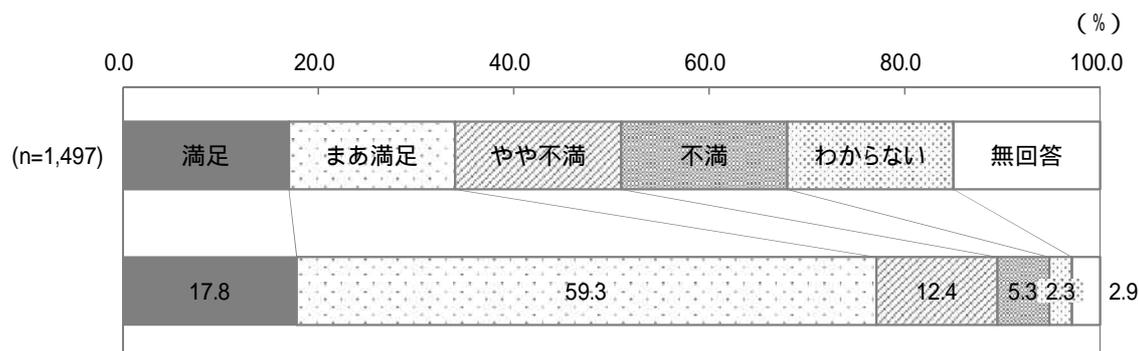
問 10 生活満足度

全般的な生活満足度については、「満足」(17.8%)及び「まあ満足」(59.3%)を合わせると77.1%であり、約4人に3人は満足しているという結果でした。また、「やや不満」は12.4%、「不満」は5.3%でした。

年齢別にみると、年齢が上がるほど満足度は低くなる傾向が見られますが、70歳以上では、「満足」が17.1%と高くなっています。また、10歳代、20歳代、30歳代では「満足」及び「まあ満足」を合わせると80%を超え、40歳代、50歳代、60歳代では70%を超えています。

居住地区別では、上戸田1地区、上戸田2地区及び新曽地区では「満足」及び「まあ満足」を合わせると80%を超えています。一方、「不満」及び「やや不満」を合わせると、最も高いのは下戸田1地区の22.6%であり、次いで笹目地区の22.2%となっています。

図表 15 生活満足度(全体)



図表 16 生活満足度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	全体(1,497)	17.8	59.3	12.4	5.3	2.3	2.9
性別	男性(670)	16.9	58.2	13.1	5.4	3.1	3.3
	女性(814)	18.4	60.6	11.7	5.2	1.6	2.6
年齢別	18～19歳(23)	26.1	60.9	8.7	4.3	0.0	0.0
	20～29歳(166)	28.3	57.2	9.0	3.6	1.8	0.0
	30～39歳(232)	22.0	61.6	8.6	5.2	2.2	0.4
	40～49歳(304)	15.5	63.8	12.2	6.3	1.6	0.7
	50～59歳(303)	11.9	65.3	12.5	6.3	2.0	2.0
	60～69歳(199)	16.6	56.3	18.1	1.5	3.5	4.0
	70歳以上(263)	17.1	49.4	12.9	7.2	3.4	9.9
居住地区別	下戸田1地区(177)	15.8	55.4	14.7	7.9	0.6	5.6
	下戸田2地区(268)	20.9	56.3	13.1	4.9	2.2	2.6
	上戸田1地区(150)	14.7	65.3	15.3	2.0	0.7	2.0
	上戸田2地区(228)	21.9	63.2	7.9	3.9	1.3	1.8
	新曽地区(355)	18.6	62.0	10.1	4.5	2.8	2.0
	笹目地区(180)	13.9	53.3	15.0	7.2	7.2	3.3
	美女木地区(126)	15.1	59.5	13.5	6.3	0.8	4.8